

# 感染症情報 2月8日～14日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	615例(堺市	21例)
②溶連菌感染症	116例(堺市	5例)
③RSウイルス感染症	105例(堺市	0例)
④突発性発疹	66例(堺市	3例)
⑤咽頭結膜熱	30例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点298医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	2例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。今回は前週比3.3%減の980件であった。感染性胃腸炎は府下で前週と比べて5%減、堺市では前週22例→今回21例であった。溶連菌感染症は府下で20%増、堺市で前週4例→今回5例であった。RSウイルス感染症が府下で前週より15%増、堺市で前週・今回とも0例であった。咽頭結膜熱が府下で42%減、堺市で前週3例→今回2例であった。

インフルエンザは府下で2例(堺市で0例)の報告は、昨年同週(3,413例)に比べて大幅に少ない。

## 指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告	1/25～1/31	+2,268例、累計43,722例に、
	2/1～2/7	+1,354例、累計45,076例に、
	2/8～2/14	+871例、累計45,947例になっていた。
陽性率	1/27～2/2	40,320検査中、2,041件陽性、陽性率 <b>5.1%</b> 、
	2/3～2/9	34,649検査中、1,239件陽性、陽性率 3.6%、
	2/10～2/16	36,923検査中、764件陽性、陽性率 2.1%

【堺市の推移】(陽性者数は堺市居住者のみ、陽性率は堺市以外の居住地を含む)

陽性者数	1/25～1/31	+142例、累計は2,807例であった。
	2/1～2/7	+90例、累計は2,897例であった。
	2/8～2/14	+57例、累計は2,954例であった。
	(11/23-11/29の週に堺市と大阪府で2例食い違いがある。堺市累計では2/14までに2,952例)	
陽性率	1/28～2/3	3,011検査中、129件陽性、陽性率 4.3%、
	2/4～2/10	2,483検査中、63件陽性、陽性率 2.5%、
	2/11～2/17	2,470検査中、50件陽性、陽性率 2.0% であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。